

令和元年度おかやま協働のまちづくり賞応募募用紙

令和 元年 10月 9日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 3世代キラリ交流会実行委員会
氏名 吉田 靖弘

令和元年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

取組の名称	3世代キラリ交流会	
取組の概要	<p>私たちは「心豊かな福田っ子」を各家庭だけでなく地域ぐるみで全体が一体となって育成していくことを目指して、福田学区の子ども・大人・お年寄りが参加する3世代キラリ交流会を実施しています。</p> <p>開会式の岡山市民体操に始まり、幼稚園児が家族・地域の大人・小中学生ボランティアと一緒に学区を散歩するウォーキングや、中学生・小学生・一般が参加するマラソン大会、書き初め、とんど、児童が大人やお年寄りの肩もみをするふれあいコーナー、全参加者がかわるがわる協力して行うもちつきなどで、世代間の交流を深めます。セクションごとのリーダーで実行委員会を組織して連携を強め、個々の企画を一体化させて幅広い世代が楽しめるイベントを目指しています。『つながろう！福田』を合言葉に、地域の子ども・大人・お年寄りの絆を深めていきたいと考えています。</p>	
協働団体	代表団体 3世代キラリ交流会実行委員会 福田学区連合町内会 福田学区の安全と安心を守る会・すこやか福田・福田学区体育協会 栄養改善協議会・健康づくり部会・愛育委員会・岡山市社会福祉協議会福田支部 岡山市南区西保健センター・福田地区青少年育成協議会・福田公民館 老人クラブ連合会・福田幼稚園 PTA・福田小学校 PTA・福田中学校 PTA 福田中学校生徒会・福田幼稚園・福田小学校・福田中学校	
取組の実施期間	始期：平成28年 5月～	<input type="checkbox"/> 令和 年 月 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続予定 <input type="checkbox"/> 令和 年 月 頃 終了 予定 ※該当するものに☑し時期の予定し必要事項記入してください。

●次の書類等を添付してください。

①〔様式1〕協働による社会課題解決の取組の内容

②〔様式2〕取組実施団体概要書

③写真等取組イメージ画像の電子データ（1枚）

インターネット投票を行う際にエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順（事務局受付順）に掲載します。

④取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート（A4またはA3）1枚

シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います（シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。）

⑤その他取組の説明資料：A4で2ページ以内で添付できます。

※提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、〔様式2〕以外は原則、ホームページ等で公開します。

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	第4回 3世代キラリ交流会
令和元年度 募集テーマ	すべての人に健康と優しさを SDGs 目標3：すべての人に健康と福祉を
テーマとの関連	<p>◎テーマと合致する貴団体の取組についてお書きください。</p> <p>「3世代キラリ交流会」は4回目を迎え、地域に定着しつつある行事です。昨年度は約900名の方が、開会式の岡山市民体操をはじめ、体を動かし、鍛えるウォーキング、マラソン、とんど、もちつきや書き初めなどの各催しに参加しました。各催しを通して子ども・大人・お年寄りの3世代が交流し、健康増進の意識を高め、笑顔と活気あふれる会になりました。連合町内会、公民館、各学校園PTAが連携して広報活動につとめ、今年度は更なる参加者の増加と、世代間のより活発な交流を図りたいと考えています。</p> <p>交流会全体の一体感をより強めるために、昨年度から大幅にタイムスケジュールを見直しました。それぞれの立場でより良いものになるよう、各世代、各団体のリーダーが企画・運営を行う実行委員会や、当日の参加者の活気ある姿から、世代を越えた地域住民のつながりが年々深まっています。子どもを中心に据え、保護者世代、お年寄り世代が様々な催しを通じて交流を行うことで絆が深まり、互いのつながりを意識し、互いを優しく思いやってみよう、地域の一体感の高まりが感じられます。</p> <p>「つながろう！福田」を合言葉に、3つの世代がより一層交流を深められるよう企画をしています。子どもは福田地域で健やかに「育ち」、大人は福田地域で「子育てをしたい」と思い、家族や世代の枠を超えて、福田地域で「一緒に暮らしたい」と、それぞれの世代が地域を愛し、暮らしやすいと思える一助になるような行事を目指しています。子どもからお年寄りまで、得意な分野を活かして力を発揮して、この交流会を実施することで、それぞれがやりがいを感じられるとともに一つの行事をみんなで作り上げる達成感を味わえると考えます。そして、自ら地域のために動き、さらに楽しく、大切にしようとする社会をつくっていききたいです。</p>
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p>◎取組の目的、解決をはかりたい社会課題の状況把握・ニーズ把握、解決後の姿（目標としている状況）などについてお書きください。</p> <p>福田学区は1幼1小1中であるメリットをいかし、園児・児童・生徒が積極的に交流を図っています。地域のイベントも多く、世代別の交流が盛んに行われています。しかし、福田学区にはかつての田園風景を残す地区もあれば、宅地化が進んで住宅街が広がり、近年新たに移り住んできた住民も増えています。ライフスタイルが変化する中で、更に各世代間での交流が希薄化する傾向にあります。そのため、福田学区では3年前から世代間の交流を目的とした3世代キラリ交流会を行っています。世代を超えた交流が生まれることにより、住みやすい福田学区をつくることができると考えます。「福田学区で育つ・育てる・一緒に暮らす」とそれぞれの世代が思えるような地域を作るために、企画から運営まで、各世代がそれぞれの立場から関わっていきます。回を追うごとにますますやりがいを感じられ、より3世代が繋がり、一体感を高めていく行事にしたいと考えます。</p>
取組の内容	<p>◎取組の内容について具体的にお書きください。</p> <p>1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など 福田学区の住民・福田幼稚園・福田学区の保育園・福田小学校・福田中学校関係者等（約900名）</p> <p>2 活動内容、実施方法など（活動ごとに箇条書きで）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●とんど祭り（福田小学校PTA） とんどの準備・運営を行う。 ●もちつき・おしるこ・芋煮（福田中学校PTA・福田学区連合町内会【各団体を含む】・福田幼稚園PTA 福田小学校PTA） もちつきの準備・運営を行う。 ●ウォーキング（福田学区の安全と安心を守る会・すこやか福田・福田学区体育協会・福田幼稚園PTA 福田小学校PTA・福田中学校PTA） 福田学区内の4kmウォーキングの準備・運営を行う。 ●肩もみ（福田小学校） 小学生が地域の大人やお年寄りの肩もみを行う。 ●書き初め（福田中学校） 中学生が地域の名人さん、公民館書道教室の大人の手助けを借りながら、書き初め体験の準備・運営を行う。 ●マラソン（福田地区青少年育成協議会） 小学生高学年・中学生を対象にしたマラソン大会の準備・運営を行う。 ●会の進行（福田学区連合町内会・福田中学校生徒会・各参加団体代表） 開会式や閉会式の運営を行う。 <p>◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。</p>

	団体名	この取組で果たしている役割
協働団体とその役割	3世代キラリ交流会実行委員会 吉田 靖弘	全体のとりまとめ
	福田学区連合町内会 岩木 護	地域のお年寄りの方々への参加呼びかけ 地域とのつながりのサポート
	健康づくり部会 服部 和憲	ウォーキングの企画・運営
	福田学区青少年育成協議会 大野 春生	地域の人材紹介と各種イベントへの援助・助言 マラソンの企画・運営
	福田幼稚園PTA 矢野 正明	各イベントへの幼稚園児の参加呼びかけ 幼稚園児のイベント参加のサポート
	福田小学校PTA 福田 大輔	とんど祭りの企画・運営、いも煮の企画・運営 各種イベントへの協力
	福田中学校PTA 久山 篤史	もちつきの企画・運営 各種イベントへの協力
	福田中学校生徒会 福谷 元気	書き初めの企画・運営、開閉開式の企画・運営 各種イベントへの協力
	取組の工夫 取組の特徴	<p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点をお書きください。 前回の「第3回 3世代キラリ交流会」後、反省会を行ってふりかえりをしました。前々回の反省を受け、各団体の責任者が集まって準備を進める形で実行委員会の組織のあり方を改善しましたが、そのことに多数の賛成意見が寄せられました。参加者全員が一体感をもって楽しめる行事にするために、どのような催し、スケジュール、会場設備であればよいかを中学校生徒会からお年寄りまで、各世代の視点でアイデアを出し合い、「様々な団体が集まって、それぞれ催しをする」ところから、「一つのイベントを様々な団体が一体となって催す」という雰囲気生まれ、より一体感が高まったという声がたくさん集まりました。今年度は、交流会の中でもマラソンやウォーキングがより活発に、多数の参加者のもとで、福田学区の良さを感じられるコース設定を考え、連合町内会や公民館、各学校園PTAの協力でより多くの参加者を募ることができるよう、広報活動に力を注いでいきます。</p> <p>◎取組の特徴やアピールポイントをお書きください。 「広がる交流と笑顔」を目指して 会場で行われているどの催しでも3世代が交流できるように、タイムスケジュールを大幅に見直しました。マラソンやウォーキング、肩たたきのように、異世代が直接話したり触れ合ったりしながら健康増進を図る活動、もちつきやとんどのように年長者の知恵を教わりながら世代間のつながりを深める活動など、できるだけ多くの場面で幅広い交流が生まれるように工夫しています。交流から笑顔やつながりがうまれ、福田学区での互いを思いやった豊かな暮らしに結び付くと考えます。</p>
成果・効果	<p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などをお書きください。</p> <p>●地域のために動くことの意義ややりがいをたくさんの方が感じることができる。 900人を超える参加者が集まるこの交流会は、1人で成功させることはできません。福田学区に関わる立場の人が成功に向けて準備を進めていきます。それぞれの持つ力を合わせ、一つの会を成功させたときの達成感は言葉に尽くせません。この交流会を通して、子どもからお年寄りまで、多くの方が地域のために動くことの喜びを味わうことができると考えます。また、1人では活動しづらいお年寄りも子どもからの声かけで、一緒に体を動かそうというきっかけになります。</p> <p>●世代間のつながりが深まる 継続的な交流により、縦のつながりが強まります。中学生が小学生に書き初めを教える姿が見られ、中学校生徒会からも「『ありがとう』と言ってもらってうれしかった」などの感想があがりました。子ども同士の異年齢交流が生まれることで、地域の中で子ども同士が助け合う関係が生まれ、幼稚園・保育園から小学校へ、小学校から中学校へとスムーズに次のステップへ進むことが期待できます。また、様々な催しを通して、子どもたちが普段の生活に関わることの少ない世代とも自然に交流します。特に、もちつきやとんど祭りは地域の方々から教わりながら取り組むので、地域の大人と子どもたちとつながりが生まれ、互いに声掛けがしやすくなります。</p> <p>●子どもたちのボランティアへの意識が高くなる。 子どもたちのボランティアへ参加の意志はもともと高く、普段から様々な地域行事に協力、貢献しています。この会の中で、多くの大人やお年寄りの中で教えを受けて活動し、教わったことができるようになる喜びや、それを周りに伝えていくことの楽しさを感じることで、協力・貢献の意識が更に高まります。この交流会で培った力や思いが地域を愛する心を育み、互いを優しく思いやり、支え合う地域社会の担い手になることを期待しています。</p> <p>●大人世代とお年寄り世代の交流が深まる。 大人世代は自分の子どもが育っている地域社会を深く理解でき、より安心して子育てができると考えます。様々なライフスタイルの中で、ともすると希薄化していた各世代間の交流が盛んになり、地域全体で子どもを育てていこうとする機運が高まることを期待できます。</p>	

今後の活動展開 など	<p>◎今後の成果の普及や活動展開などについてお書きください。</p> <p>前回の「第3回 3世代キラリ交流会」が終わってすぐから、ふりかえりを行い、今回の実施に向けて準備を進めてきました。今年度は第4回を迎え、地域密着型の行事として定着しつつあります。まだ、参加する世代に偏りがあるなど、課題も毎年出てきます。しかし、その都度よりよいものにするために話し合いを持ち、『やってみる・やらせてみる』ことを繰り返し、何十年も続く行事にしていきたいと考えます。キラリ交流会に参加した子どもたちが今度は保護者となって参加すれば、各世代の縦のつながり、横のつながりをより一層強く結ぶ行事となると思います。</p> <p>地域の中で、子どもを中心に据えて各世代がつながりを強め、互いを優しく支え合い、思いやってもに暮らす地域社会の実現をめざしています。</p>
---------------	---